

一般質問

市政のいまを問ふ

この定例会では、12月1日から3日までの3日間、19人が登壇し、46項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問項目(発言順) (※)：掲載した項目

- 稲垣 雅弘 議員**
 - ※1 「未来を創造する子ども」のための環境づくりについて
 - ※2 小中学校における安全対策全般について
- 外山 敏一 議員**
 - ※1 小中学校における安全対策全般について
 - ※2 誰が安心して預けられる保育制度について
- 中嶋 祥元 議員**
 - ※1 市民生活応援の充実について
 - ※2 「お城」建設ストップの見解について
- 山本 シモ子 議員**
 - ※1 消費者被害から市民を守る施策について
 - ※2 ジェンダー平等社会の実現に向けて
- 牛田 清博 議員**
 - ※1 消費者被害から市民を守る施策について
 - ※2 ジェンダー平等社会の実現に向けて
- 松永 寿 議員**
 - ※1 マイナンバーカードについて
 - ※2 投票証明書について
- 鈴木 綱男 議員**
 - ※1 市営住宅の今後について
 - ※2 市職員給与水準について
- 白土 美恵子 議員**
 - ※1 子官頭がんワクチンについて
 - ※2 胃がん予防について
- 蜂須賀 信明 議員**
 - ※1 公共施設連絡バス「かりまる」運行施策について
 - ※2 公私立保保育園・乳児園の入園手続きについて
- 佐原 充恭 議員**
 - ※1 災害時のベト同行避難について
 - ※2 自転車等の安全で適正な利用の促進について
- 上田 昌哉 議員**
 - ※1 刈谷市のビジョンについて
 - ※2 若者の自死について
- 鈴木 浩二 議員**
 - ※1 通学路の交通安全対策について
 - ※2 持続可能な公営事業について
- 伊藤 幸弘 議員**
 - ※1 自治会加入促進について
 - ※2 魅力あふれる公園づくり構想について
- 渡邊 妙美 議員**
 - ※1 学校の制服について
 - ※2 性の多様性について
- 城 内志津 議員**
 - ※1 子ども・若者への支援の充実について
 - ※2 安心して子育てできる医療費助成制度について
- 新海 真規 議員**
 - ※1 刈谷市自治基本条例を活かしたまちづくりについて
 - ※2 学習端末の活用について
- 揚 張一 議員**
 - ※1 ゼロカーボンに向けた市の取組について
 - ※2 スタミリンゴガイ(ジャンボタニシ)について
- 星 野雅春 議員**
 - ※1 市民の健康増進施策について
 - ※2 刈谷市民休暇村について
- 谷口 睦生 議員**
 - ※1 刈谷市民の読書推進施策について
 - ※2 高齢者が安心して暮らせる社会について

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。

「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



稲垣 雅弘 議員

高等学校の学習指導要領改訂に対応した国語教育を!!

中学校で積み上げた言語活動で育んだ力が発揮されると考える。指す方向が、中高連携の視点から中学校の授業とどのような関わりを持つてくると考えるか。

【答】 学習指導要領の改訂により、各教科で言語能力の確実な育成が図られる。現在、本市の中学校の授業では、国語科を中心に、物語文などに書かれている言葉に着目し、状況や心情を思考する中で、仲間同士で伝え合い、自分の考えを深める活動を行っている。また、朝の読書や読み聞かせなどの活動も継続しており、本に親しみ、文章読解力を高めるとともに、豊かな心を育んでいる。そのため、中学校で積み上げた言語活動で育んだ力が、高等学校でも発揮されると考えている。

外山 敏一 議員

小中学校における登下校時の安全対策の現状は!!

危険箇所に対し、カラー舗装や交通規制等を実施している。不審者情報は直近4年半で91件発生している。保護者、警察、地域との情報の共有化は。不審者の連絡を受けた学校は、警察や教育委員会、市内各学校に報告し、きずなネットを使って全保護者に配信し、情報共有を図っている。また、内容の危険性によっては、刈谷市メール配信サービスで市民にも情報発信するほか、教職員による学区の見回りや通学路での登下校の見守りを行っている。

中山 敏一 議員

通学路危険箇所の洗い出しとその対応は。

【答】 年度初めに通学路改善要望調査を小中学校、幼児園、保育園に対して行っており、関係部署、関係機関とも連携し合同点検を行うなど、対応策を検討している。また、法改正の趣旨に沿って今後活動を広げる必要があるが、どんな活動を行う予定か。相談事例や被害の傾向などを情報共有し、被害が疑われる場合は、関係機関と連携し、未然防止につなげる。



関係機関と連携し、様々な方面から児童生徒の安全を守る

中嶋 祥元 議員

人口減少の時代、雇用確保と定住促進施策が重要!!

住民、事業者を選んでもらえる魅力をまちづくりに努める。学校で5、2%である。今後PTA総会や入学説明会などで、県条例により保険加入が義務化されたことを周知していく。

【答】 自動車産業では、環境対応など100年に一度の大きな変化が起きている。アフターコロナの影響も踏まえ、行政として何を準備すべきと考えるか。テレワークなどの働き方改革で、住む場所選定の価値観が変化する可能性がある。SDGsやゼロカーボンなど産業構造の転換に対して、製造業を中心に適切な支援をしつつ、起業や新産業の育成支援が重要と考える。

【問】 自動運転や新エネルギーを活用したスマートシティなど先進的取組が重要と考える。市として必要性の認識は。【答】 新技術の活用は市民の暮らしやすさや安心安全を向上させる市の魅力向上につながる。企業と協働してスマートシティ化推進の体制づくりを進める。

【問】 次世代エネルギー、特に水素の活用は環境対策のカギと考える。【答】 水素ステーションや工場内設備の整備に対して、国や愛知県の補助制度がある。国内の動向や他自治体の事例を参考にしながら、新たな環境投資への支援について研究する。

【問】 刈谷駅を中心としたにぎわいづくりの取組は。【答】 歩行空間の整備などで回遊性を高め、居心地がよく歩きたくなるまちづくりに取り組んでいきたい。



次世代エネルギーを活用し、環境対策を取り入れたまちづくり

山本 シモ子 議員

コロナ禍、情勢が大きく変化、お城建設中止の決断を!!

日本共産党議員団は亀城公園へのお城建設に一貫して反対を主張している。市民からも今どうなっているのかという声は依然高いが、現状は。

【問】 魅力あふれる公園づくり構想策定委員会を立ち上げ、検討を進めていると聞いている。第1回の委員会で「亀城公園はどうなるのか」という発言があったが、第2回ではとりわけ亀城公園について注目すべき内容があったか。【答】 特になかった。

【問】 社会情勢は大きく変化している中で、税金の使い道が問

【問】 社会情勢は大きく変化している中で、税金の使い道が問

- 渡邊 妙美 議員**
 - ※1 学校の制服について
 - ※2 性の多様性について
- 城 内志津 議員**
 - ※1 子ども・若者への支援の充実について
 - ※2 安心して子育てできる医療費助成制度について
- 新海 真規 議員**
 - ※1 刈谷市自治基本条例を活かしたまちづくりについて
 - ※2 学習端末の活用について
- 揚 張一 議員**
 - ※1 ゼロカーボンに向けた市の取組について
 - ※2 スタミリンゴガイ(ジャンボタニシ)について
- 星 野雅春 議員**
 - ※1 市民の健康増進施策について
 - ※2 刈谷市民休暇村について
- 谷口 睦生 議員**
 - ※1 刈谷市民の読書推進施策について
 - ※2 高齢者が安心して暮らせる社会について

あり、構想策定の検討では、これまでの取組についても丁寧に説明し、進めていきたい。



四季折々の景色で市民を魅了し、憩いの場となっている亀城公園

牛田 清博 議員

高齢者等の消費者被害防止のため「協議会」の設置が必要

「地域包括支援センター連絡会」を「協議会」として位置づけた。市の消費者被害の相談件数・内容の実態は。

【答】 平成30年度が411件、令和元年度が485件、2年度が503件と増えており定期購入や高額請求のトラブルが多い。【問】 高齢者等は、一人暮らしなど相談する人がいない。被害

鈴木 綱男 議員

二入を的確に反映した市営住宅の整備を!!

安定供給のため関連部署と連携を深めていくことが必要。令和3年末に増改築完了予定の下重原住宅と過去に建設した住宅1戸当たりの建設費は。

【答】 今後の活用については、【問】 下重原住宅は約2、10



今後、活用のさらなる拡大が検討されているマイナンバーカード

【問】 市内で带状疱疹ワクチンの助成をしている自治体は。【答】 名古屋市が助成をしており本人負担額はビケンが4、200円、シングリックスが2回



様々な角度から整備内容を検討し、安心して利用することができる市営住宅

白土 美恵子 議員

带状疱疹予防接種費用助成の拡充を!!

「検討時点で多く流通していたビケン」を基に助成額を決めている。8月から带状疱疹予防接種費用の一部助成が始まったが、助成対象者、ワクチンの種類及び実費で接種した場合の金額及び市の助成額は。

【答】 対象者は50歳以上で、ワクチンは2種類あり、従来から使用されている「ビケン」という生ワクチンは接種回数が1回で7、000円から8、000円程度、令和2年1月に新しく販売が開始された「シングリックス」という不活化ワクチンは2回接種で合計4万円程度である。助成額はどちらも1回に限

り3、000円で、市民税非課税世帯は8、000円を上限としている。【問】 県内で带状疱疹ワクチンの助成をしている自治体は。【答】 名古屋市が助成をしており本人負担額はビケンが4、200円、シングリックスが2回



市民の健康を守るため、社会情勢に合った助成拡充を